

伊那弥生ヶ丘高校における学びの実践について

1 探究的な学びの取組について

- 1年次：地域の持つ課題や持続可能な社会の実現に向けた課題を知り、自己の関わりから問いを立て、解決する方法を学ぶ。
- 2年次：プロジェクト学習を基本とし、地域の方々との交流等から課題に対する理解を深め、調査・分析を進める。さらに、その結果から、プロジェクトとして実行する方策を考え、地域の人に向けて発表する。
- 3年次：1、2年次に培った課題探究の力をベースに、文化祭の企画・運営、また自己実現を目標とした進路研究に主体的に取り組む。

2 新校の学びのイメージに向けた現在の取組

<卓越性の伸長>

- 日課の工夫
 - ・探究活動において、フィールドワークや対話的な学びを充実させるため、年間10日ほど100分間の探究学習の日を実施
- 思考力・判断力・表現力育成のためのICT機器の活用
 - ・電子黒板、書画カメラ、共用タブレット等の利用
 - ・一人1台タブレット端末(iPad)の導入(令和3年度より)
 - ・Classi、Google Classroom、ロイロノート等のソフトの有機的な活用

<地域との連携(中高連携を含む)>

- 探究活動およびキャリア教育において、伊那ロータリークラブ(1年次)や郷土愛プロジェクト(2年)との連携
- 大学模擬授業において、信州大や山梨大等の甲信越地区国公立大学および松本大等の私立大学との連携

<国際・グローバルへの対応>

- 実用英語検定やGTECへの受検の推奨
- WWLへの参加(令和3年度より)

<進路指導の取組>

- 補習・特別授業等
 - ・土曜講座(年11~12回)
 - ・学習室「日輪館」の運用
- キャリア教育の推進
 - ・就業体験
 - ・キャリアセミナー(1年)
- 大学との連携
 - ・大学模擬授業(11月)
 - ・進路(大学)見学会(1年12月)